



2012年12月13日

富士重工業 農機用スバル汎用エンジン「EK30」を新開発

富士重工業は、農業機械用スバル汎用エンジン「EKシリーズ」に、最上位機種として「EK30」を追加し、2013年10月より順次生産開始・発売します。

2011年5月から生産しているEKシリーズは、田植機や耕運機、管理機、動力噴霧器、運搬車などの農業機械用に最適な回転速度に減速する装置である2分の1減速機を内蔵したエンジンで、総排気量125ccから274cc（最大出力4.3HPから9.7HP）まで4機種をラインナップし、主に日本および中国・台湾をはじめとしたアジア農業機械市場へ展開しています。

今回追加するEK30は、EKシリーズの最上位機種として、大型管理機や乗用田植機、運搬車、小中型除雪機などの動力源として搭載されることを想定し開発しました。農業機械専用の出力セッティングにより、中低速域から優れた出力性能を発揮し、力強く粘りのある出力で、プロユーザーの重作業用農業機械にも対応します。さらに低引カリコイルによりお年寄りや女性にも楽に始動でき、また大型消音マフラーを採用することで、アイドル時の騒音を大幅に低減するなど、作業者の負担を軽減すると共に作業環境にも配慮した設計を行いました。エアクリーナーなどのオプション部品も豊富で、充実の仕様対応や技術支援により、様々なタイプの農業機械へ搭載可能です。

新開発EK30をはじめEKシリーズエンジンは、国内排ガス自主規制（3次）および中国排気ガス規制（第2段階）にも適合する予定です。

富士重工業は産業機器カンパニーにおいて、建設機械や産業機械、農業機械に搭載するスバル汎用エンジンシリーズをはじめ、スノーモービルやバギー車などへ搭載する高性能な車載専用エンジン、そしてエンジン駆動の発電機やポンプなどの完成商品を開発・製造・販売し、世界のお客さまから高い信頼をいただいています。今回、新開発のEK30を追加したEKシリーズエンジンにより、農業機械用エンジンの商品力強化を図り、多様なニーズに対応できるグローバルな汎用エンジン総合メーカーとして、さらなる事業の発展を目指します。



【EK30】

【EK30 主要諸元】

モデル名	EK30
型式	空冷4サイクル傾斜形単気筒 OHV ガソリンエンジン
減速方式	1/2 カム軸減速
総排気量(cc)	296
最大出力[kW(HP)]/rpm	7.4(10.0)/1800
全長×全幅×全高(mm)	290×418.5×437

※仕様は予告無く変更することがあります。